

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念

地域で育もう 未来に輝く 奥州っ子

奥州市の未来をになうすべての子どもはかけがえのない存在です。その一人一人が個性ある存在として認められながら、健康で明るく伸びやかに育ち、幸せに暮らせるようになることは地域全体の願いです。

子どもの健やかな育ちの源となる「親と子がふれあい、過ごす機会と時間」は何より大切にされなければなりません。そして、親として喜びや生きがいを感じながら子育てができることは市民みんなの望みです。

このような子育てや子育てが叶えられるよう、地域全体が子どもの育ちや子育て支援の重みについて理解をし、それぞれの立場で支え、協力して、すべての子どもたちの健やかな成長を育んでいくまちづくりをすすめます。

〔基本理念の考え方〕

奥州市は、少子化傾向が常態化していることに加え、更にこれから本格的に到来する人口減少社会に向かっています。そのような中、子どもの健やかな育ちを支え、子どもを産み育てたいと願う保護者の希望が叶う社会を実現していくことは重要な課題であります。本市においてはこれまで「奥州市次世代育成支援行動計画（後期計画）」で「未来に輝く奥州っ子を地域全体で育むまち」という理念を掲げて子育て環境ナンバーワンプランに取り組んできており、子育て支援策や母子保健施策に一定の推進が図られましたが、課題は多く、前段の社会の実現のためには行政を始め、家庭や学校、職場や地域など地域全体がそれぞれの立場で踏み込んだ取組が求められます。

本計画は、子ども・子育て支援法に基づくものであり、その第二条は「子ども・子育て支援は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行われなければならない。」となっています。同条には続いて「子ども・子育て支援給付その他の子ども・子育て支援の内容及び水準は、全ての子どもが健やかに成長するように支援するものであって、良質かつ適切なものでなければならない。」「子ども・子育て支援給付その他の子ども・子育て支援は、地域の実情に応じて、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行われなければならない。」と示されています。

本市の子ども・子育て支援事業計画の基本理念の設定にあたっては、法の趣旨はもとより、国の基本指針の意義、理念との調和を図り、本市次世代育成支援行動計画（子育て環境ナンバーワンプラン）の基本的考え方を引き継ぎながら、また、本市子どもの権利条例の趣旨を尊重するとともに、ニーズ調査結果からの課題、子ども子育てを取り巻く状況などを踏まえて、本市がめざし、取り組むべき方向性を位置付けるものです。

2 基本的な視点

計画の推進にあたり、次の視点を踏まえながら基本目標にむかって施策の展開を図っていきます。

- すべての子どもが健やかに育つ視点
- すべての親が安心して子育てができる視点
- 子育て・子育てを地域全体で支えていく視点

3 基本目標

I 一人一人の子どもの健やかな育ちを応援するしくみづくり

奥州市の子どもは、一人一人が個性ある存在として認められ、また、自らも認めながら、心身ともに健康で、明るく伸びやかに成長し、自立に向かっていくことが地域の大きな望みであり、そしてやがて、奥州市を支えていく人になってほしいと願うものです。

そのためにはすべての子どもの育ちの保障が重要であり、幼稚園・保育所から小・中学校へとつながる一体的な子育てを支援するという考え方のもとに、乳幼児期には、発達段階に応じた質の高い教育・保育が提供されることが重要となります。すべての子どもが質の高い教育・保育を受けられる環境を整えます。

また、障がいや発達に課題のある子どもや虐待等により配慮が必要な子どもなど、特に支援が必要な子どもや保護者に対して、子どもの特性に合わせた継続的な支援ができる体制の整備を進めます。

II 安心して子どもを産み喜びを持って子育てができるためのしくみづくり

保護者にあっては子育てについての責任を果たすこととともに、子育てを通して親も成長し大きな喜びや生きがいをもたらされます。そのことが享受できるよう、子どもの健やかな育ちの源となる「親と子がふれあい、過ごす機会と時間」を何より大切にしなければなりません。

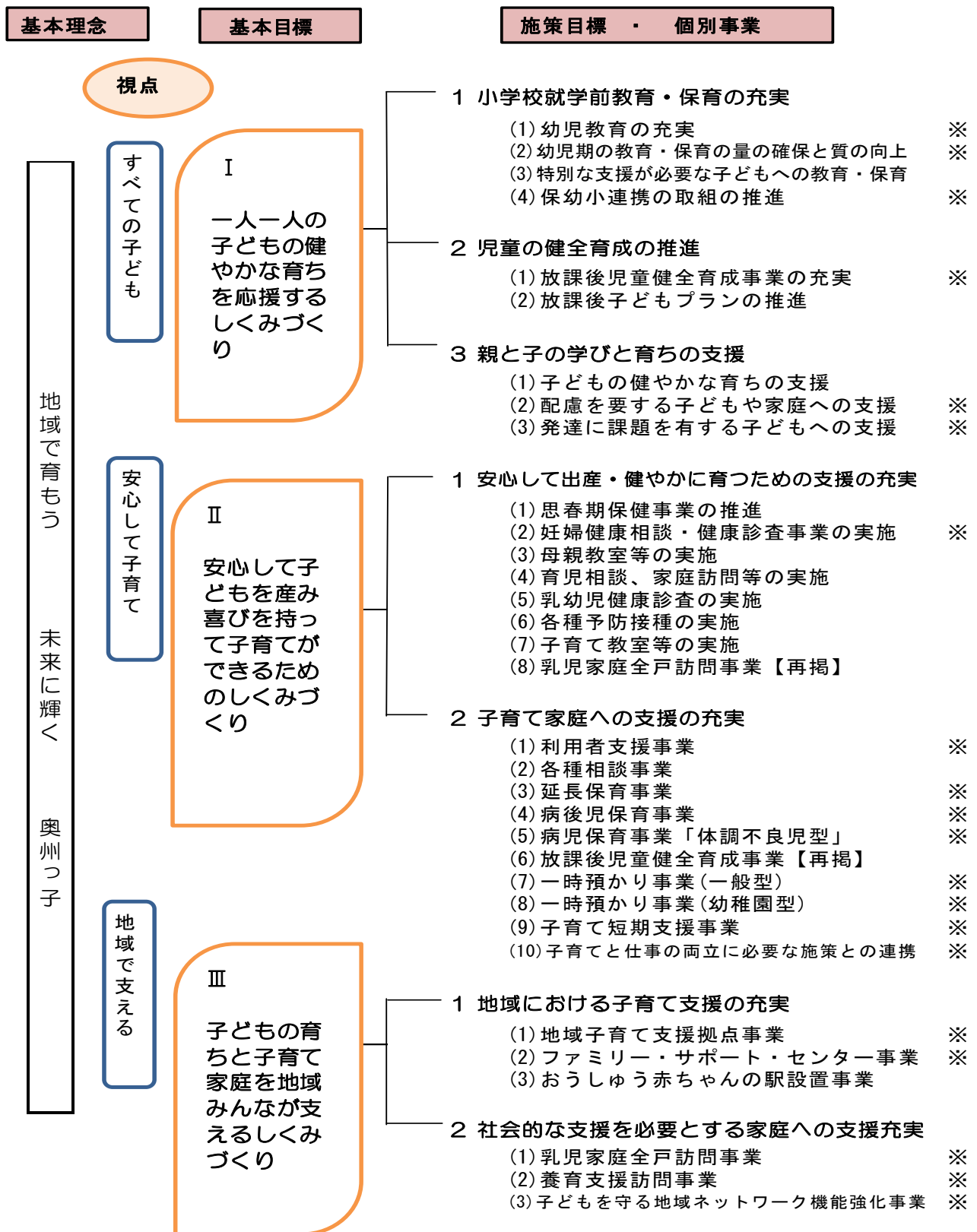
安心して子育てをするために生まれる前からの切れ目のない支援の提供と、保護者の就労状況や生活環境などの違いにかかわらず、子育てするすべての人に対して様々な支援の提供に努めます。

III 子どもの育ちと子育て家庭を地域みんなが支えるしくみづくり

子どもの育ちと子育て家庭への支援は、家庭はもとより、学校、地域、職場その他の分野の全ての構成員が、子どもの育ちや子育て支援の重要性について関心や理解を深め、それぞれの立場で支え、協力して行っていかなければなりません。子どもや子育てをやさしく見守る地域の輪は、子どもたちが豊かな心を育む栄養となります。

すべての子どもの最善の利益の実現に向け、地域の理解を得ながら、身近な地域の様々な世代の人々が子育て家庭を応援できる環境の整備を推進します。

4 計画の体系



※印事業は、計画必須記載事項